

脳卒中急性期入院台帳

島根医科大学医学部附属病院第三内科

1 2 全レコード数 2

新規 検索 表示 印刷 印刷

患者一覧

患者氏名	性別	年齢	住居形態	入院病型分類	Rankin
厚生太郎	男	70	7テローム血栓性梗		1
厚生親子	女	62	くも膜下出血		6

治療

患者氏名 () とうせいとうろう 男 70 歳
 ID: 0000001

- 脳卒中発症日 1999.02.01 ● 脳卒中発症時間 22:30
 *血栓溶解・抗凝固・抗血小板治療は必ず時間を記入
 (発症からの経過を時間単位で入力(15, 30, 45, 60分))
- 急性期治療内容1 ウロキナーゼ42万IU回(点滴) 発注 治療開始までの時間 3 H
- 急性期治療内容2 抗トロンピン薬点滴発注 治療開始までの時間 4 H
- 急性期治療内容3 高張液 治療開始までの時間 4 H
- 急性期治療内容4 治療開始までの時間 4 H
- 7日以内治療 治療 (治療は1を入力)

ヘパリン アスピリン チクロピジン
 必要に応じて記載 ● UK重 420000 ● t-PA重

● 治療内容詳細 (副作用等も記入)
 UK42万単位急凍点凍後、アルゴトロパン点滴7日間。副作用なし。片麻痺改善。

(手術施行時の入力(手術日))

手術内容	手術年月日	手術Day
● 手術内容1 CEA	手術年月日1 1999.04.12	70
● 手術内容2 STA-MICA吻合術	手術年月日2 1999.04.12	70
● 手術内容3	手術年月日3 1999.02.01	0

● リハビリ開始時期 7日以内
 ● リハビリコメント

● 入院時・退院時処方種類 ● 処方記載 (必要に応じて薬剤名記載)

経口薬	アスピリン
脳循環代謝改善薬	バナルジン
抗血小板薬	コニール
	サージル

脳卒中急性期入院台帳

鳥根医科大学医学部附属病院第三内科

1 全いコード数

2

新規 検索 印刷

患者一覧

患者氏名	性別	年齢	退院理由	入院病型分類	Rankin
厚生太郎	男	70	アテローム血栓性梗	1	1
厚生絹子	女	62	くも膜下出血		6

神経症状評価 (JSS & NIHSS)

患者名 (こうせい たくろう)

ID: 00000001

JSS経過 NIHSS経過

入院日時: 1999.02.02

入力画面(この画面に入力するとJSSとNIHSSが自動的に評価されます)

JSS: NIHSS scale

入院日時: 1999.02.02

退院日時: 1999.02.25

1	質問に対する反応 [0-2]	1	0
2	命令への反応 [0-2]	1	0
3	Glasgow coma scale		
	開眼 [1-4]	3	4
	言語 [1-5]	4	5
	運動 [1-6]	5	6
4	失語 [0-3]	0	0
	構音障害 [0-2]	2	0
	言語障害(総合) [0-4]	0	4
5	瞳孔異常 [0-2]	0	0
6	法規 [0-2]	2	0
7	視野 [0-3]	3	0
8	無視 [0-2]	2	0
9	顔面麻痺 [0-3]	3	0
10	上肢の運動		
	右 [0-4]	0	0
	左 [0-4]	4	0
11	下肢の運動		
	右 [0-4]	0	0
	左 [0-4]	4	1
12	運動系		
	手 [0-5]	4	1
	腕 [0-5]	4	1
	下肢 [0-5]	5	2
13	足底反射 [1-3]	3	1
14	矢状 [0-2]	0	0
15	感覚 [0-2]	2	2

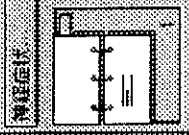
検査不能の
場合は最悪
スコア入力

解答窓に入力

死亡の場合
すべて最悪
を並び入力

● 神経症状詳細 (ここに入力するとJSS、NIHSS画面でもみれます)

下肢に強い左不全麻痺と半側無視、意欲低下、夜間せん妄あり、治療により改善。



リコード数

コメント

脳卒中急性期入院台帳

島根医科大学医学部附属病院第三内科

全レコード数

2

新規 検索 印刷

患者一覧

患者氏名 厚生 太郎 性別 男 年齢 70 退院時JSS 0.49 RankID 1
発生相手 厚生 相子 性別 女 年齢 62 入院時JSS 15.47 RankID 6

初期設定

1 患者基本情報

2 診断・病歴

3 画像診断

4 治療

神経症状評価 (JSS経過)

患者情報
ID: 00000001 性別 男 年齢 70 姓 厚生 太郎

ここは閲覧画面です。JSS-NIHSS combined scale(入力)して下さい。

JSS変化: 17.57 JSscale
●入院時検査日 1999.2.2 ●退院時検査日 1999.2.25

項目	入院時JSS	退院時JSS	変化	項目	入院時	退院時	変化
GCS	12	15	3	眼球運動障害	C	C	
GCS評価	B	A		瞳孔異常	A	A	
JCS	7	9	2	顔面麻痺	C	C	
JCS評価	B	A		足底反射	C	C	
言語	C	A	2	感覚	C	C	
無視	C	A	2	手の運動	C	A	2
半盲	B	A	1	腕の運動	C	A	2
眼球運動障害	C	A	2	下肢の運動	C	B	1
瞳孔異常	A	A					
顔面麻痺	C	A	2				
足底反射	C	A	2				
感覚	C	C					
手の運動	C	A	2				
腕の運動	C	A	2				
下肢の運動	C	B	1				

●神経症状詳細

下肢に強い左不全麻痺と半側無視、意欲低下、夜間せん妄あり。治療により改善。

脳卒中急性期入院台帳

島根医科大学医学部附属病院第三内科

1 2 全レコード数 2

新規 検索 印刷

患者一覧

患者氏名	性別	年齢	特定標準病型分類	Rankin
厚生太郎	男	70	アテローム血栓性梗	1
厚生律子	女	62	くも膜下出血	6

初期設定

1 患者基本情報

2 診断・病歴

3 画像診断

4 治療

患者名 (読み仮名)

厚生太郎

ID: 0000001

性別 男 70 歳

ここは閲覧画面です。JSS-NIHSS combined scaleに入力して下さい

NIHSS変化: ~23

● 入院時検査日 1999 02 02

● 発症-NIHSS日数 1

JSS経過

● 退院時検査日 1999 02 25

24

JSS-NIHSS 77

意識1	2	意識2	0
質問反応1	1	質問反応2	0
従命反応1	1	従命反応2	0
注視1	2	注視2	0
視野1	3	視野2	0
顔面麻痺1	3	顔面麻痺2	0
上肢運動右1	0	上肢運動右2	0
上肢運動左1	4	上肢運動左2	0
下肢運動右1	0	下肢運動右2	0
下肢運動左1	4	下肢運動左2	1
失調1	0	失調2	0
感覚1	2	感覚2	2
言語1	0	言語2	0
構音障害1	2	構音障害2	0
消去無視1	2	消去無視2	0
NIHSS総合点1	26	NIHSS総合点2	3

● 神経症状詳細

下肢に強い左不全麻痺と半側無視。食欲低下、夜間せん妄あり。治療により改善。

脳卒中急性期入院台帳

島根医科大学医学部附属病院第三内科

1 2 全レコード数 2

新規 検索 印刷 更新

患者一覧

患者氏名	住	年齢	患部	患部病型分類	Rankin
厚生太郎	男	70	7テローム血症性梗	1	6
厚生親子	女	62	くも膜下出血		

初期設定

1 患者基本情報

2 診断・病歴

3 画像診断

4 治療

5 神経心身

6 退院後追跡

7 神経心身

CT/MR画像

患者名: 厚生太郎 (こうせい たくろう) 男 70 歳
 ID: 00000001

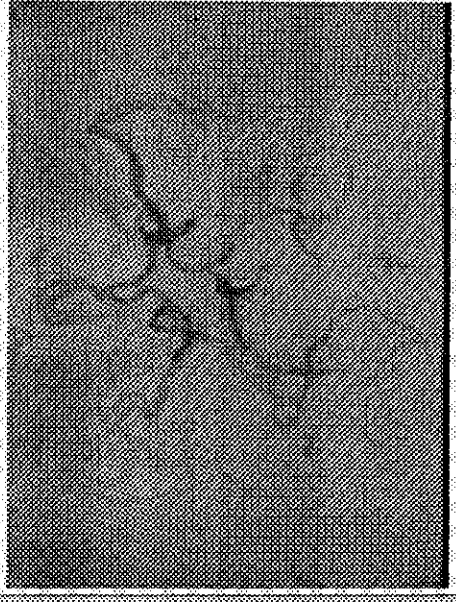
取込ボタンをクリックし、ファイル名一覧から入力画像を選択
 (画像はJPEGで別ファイルに作成しておく)

注意:必ず「ファイル参照データのみに保存」を選択

選択画像

画像リスト

2/1 CT	取込	削除	2/5 MRI T2 T1	取込	削除	2/15 SPECT(PA0)	取込	削除



CT/MR画像

レコード数 2

シート

脳卒中急性期入院台帳

島根医科大学医学部附属病院第三内科
 1 2 全レコード数 2

新規 検索 夜間 削除

患者一覧

患者氏名	性別	年齢	脳卒中病型分類	Rankin
厚生太郎	男	70	アテローム血栓性梗	1
厚生種子	女	62	くも膜下出血	6

初診設定 患者基本情報 診断・検査 画像診断 治療 神経区別評価 退院後追診 画像 神経心電

退院後追診

患者名 (こまやいんたろう) 厚生太郎 男 70 歳
 ID: 00000001

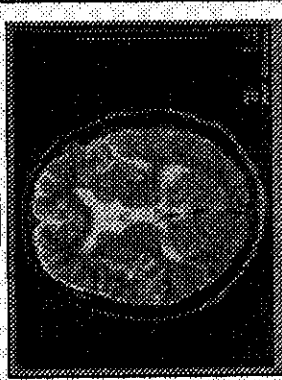
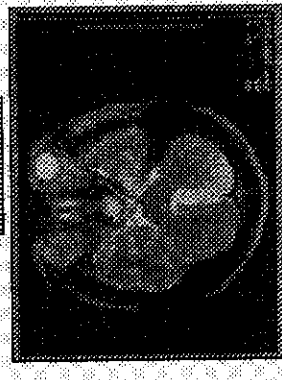
6ヶ月後 1年後 2年後 3年後 4年後 5年後

6ヶ月後

調査日 1999.08.01 (例: 2000.2.5) 6ヶ月後
 再発 なし 再発年月日 1999.06.09
 再発病型 アテローム血栓性梗塞 CTMR確認 あり
 再発詳細 4ヶ月目に小脳梗塞再発、しかし軽快し家庭復帰

Rankin 参照

Rankin 4 HDRS 24 / MMSE 25 痴呆 なし
 死亡年月日 死亡
 再発直前治療内容 追跡時心血管系発症
 抗血小板薬 心血管系発症日
 抗凝固薬 追跡画像2 画像診断
 降圧薬 追跡画像1 画像診断

脳卒中急性期入院台帳

島根医科大学医学部附属病院第三内科

1 / 2 全レコード数 2

新規 検索 削除

患者一覧

患者氏名	住	年齢	血圧	血清型分類	Rankin
厚生太郎	男	70	アテローム血栓性梗		1
厚生親子	女	62	くも膜下出血		6

神経心理

患者名 厚生太郎 (こうせい たくろう) 男 70 歳

必要な例のみ入力
 (必要のない場合は数値入力、
 緑色の欄は目録入力、
 ピンクの欄は記載)

- 利き手 右 ● 教育年数 12
- 神経心理検査日 1999.02.18 (主たる検査日) (1999.12.25等)
- HDS-R 25 ● MMSE 参照 22
- Zung's SDS粗点 44 ● WAIS総IQ 76
- やる気スコア 24 ● WAIS言語性IQ 90
- かなひろい正答数 6 ● WAIS動作性IQ 66
- 語想起 動物名5 「し」 6 ● Wechsler Memory Scale 36
- KFS-Wisconsin card sorting test CA: 3 PEN: 8 DMS: 4 ● 両形式簡易的尺度 36
- SLTA 失語無し ● Kohs Block Design Test 85
- WAB ● RPCM
- 標準失行検査 7/8/8、5/6/8 ● 三式記憶検査
- 失行なし ● Benton視覚記憶検査
- 神経心理検査詳細 ● 標準高次視覚認知検査 左半側無視

5 検査結果再掲

6 入院後追跡

7 通院

8 神経心理

初期設定

1 患者基本情報

2 診断 病歴

3 画像診断

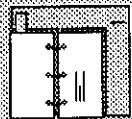
4 治療

神経心理

1コード数 2

プリント

紹介状

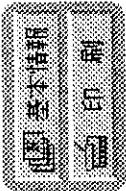


レコード

2

来ノート

紹介状 (診療情報提供書)



医療機関名: 雨が関診療所 693-0021 平成11年2月20日

高根県出雲市塩冶町69-1 電話 0853-23-2111

内科 菫川正二 先生 烏根医科大学医学部附属病院

診療科名 神経内科

医師氏名 山形真吾

患者名 () 性別 男

厚生太郎 電話 08-8678-7111

患者住所 〒 東京都千代田区蕨1-1

生年月日 (70 歳)

主訴又は病名

既往歴及び家族歴

■既往歴 98/5/5左片麻痺TIA

■家族歴 脳卒中とSAHあり

紹介目的

継続治療

症状経過及び

2月1日入浴後、急に左半身脱力出現し歩行不能、異常言動有り、救急車で入院。左片麻痺、左半側無視あり。階段状進行あり。

検査所見

diffusionのみで右側頭頂後頭葉を含む病変
右MCA皮質枝閉塞

治療経過

テント上皮質枝横塞

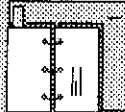
プロキナーゼ大量、アルガトロバン併用療法でADL自立まで軽快。

アスピリン

パナールジン

コニール

脳梗塞



レコード番号

2

床ナンバー

脳梗塞急性期医療の実態に関する研究登録票（発症7日以内例のみ）

病院名・所属科: 島根医科大学医学部附属病院 第三内科

担当医師: 山形真吾 担当科: 神経内科

患者イニシャル: T.K. 性別: 男 患者ID: 00000001

生年月日: 28/12/5 入院日: 99/2/2 退院日: 99/2/20

1.発症日 99/2/1 曜日: 月 発症時間帯: 安静時 在院日数: 18

発症時間: 22:30 発見時間: 22:30

2.来院時 入院年月日: 99/2/2 来院時刻: 1:00 来院曜日: 平日

3.発症場所: 自宅 4.発症・発見から来院までの時間: 2.50

5.来院までの方法: 救急車

6.来院理由: 他院紹介(診察後)

7.発症時症状(参照) 左片麻痺 半側無視 知覚障害

1.意識障害 2.言語障害 3.顔面麻痺 4.上肢麻痺 5.下肢麻痺 6.視覚障害 7.運動障害 8.歩行障害 9.感覚障害 10.その他

8.脳卒中既往歴: 1回

9.脳卒中家族歴: 脳卒中とSAHあり

配偶者脳卒中歴: なし 脳卒中家族歴詳細: 両親

10.初診医: その他の科医

11.入院病棟: ICU/SCU

12.入院時神経症候(NIHSS)

意識:	2	顔面麻痺:	8	失語:	0	NIHSS総合点	
質問反応:	1	上肢運動右:	0	感覚:	2		26 / 42
従命反応:	1	上肢運動左:	4	言語:	0		
注視:	2	下肢運動右:	0	構音障害:	2		
視野:	8	下肢運動左:	4	消去無視:	2		

18.来院後頭脳CT・MRI検査までの時間: .5

14.脳血管評価: MRA

15.急性期治療: [1]120時間以内

(参照) 治療1: ヲロキナーゼ42万U単回(点滴)静注 8 治療3: 高張液

治療2: 抗トロンビン薬点滴静注 4 治療4:

ウロキナーゼ: 経静脈的 UK量: 420000 発症-UK時間: 2 時間

rtPA量: rtPA量: 発症-rtPA時間: 時間

外科治療: なし 低体温療法: なし

[2]7日以内の治療薬

ヘパリン アスピリン チクロピデン

16.診断: アテローム血管性梗塞 病巣部位: 右IC系

17.危険因子: 高血圧: 高血圧内服規則 糖尿病: なし 高脂血症: 高脂血症食事療

基本情報 印刷

脳卒中急性期患者データベース試作版入力率 と項目検討結果

試作版は従来のデータベースに比較するとかなり絞り込んだ内容となっはいますが、実際に入力するとかなりの労力を要し、多忙な脳卒中診療の基幹病院において継続的使用には多くの問題点があることが実証試験で明らかになりました。

入力の省力化と臨床研究にも耐えうる内容という相反する部分の解決策を見出すための検討の基礎資料です。

今後これらの検討結果を基にコンピューターの特性を活かした実用的なデータベースを開発していく予定です。

脳卒中急性期データベース項目別入力率及び削減可能項目検討結果

項目	入力なし数	うちSAH例数	入力率	削除可能*
基本情報				
患者ID				
患者名	消去			*必要?
患者名よみ	消去			
生年月日				
性別				
連絡先住所	消去			*必要?
電話番号	消去			*必要?
郵便番号	消去			*
専門科				
担当医師名				
来院年月日	0		100.0	
来院時刻	3		98.9	
発症日	0		100.0	
発症時間	8		97.2	
発症時間帯	2		99.3	
来院方法	5		98.2	
紹介もと	64		77.5	まとめる
紹介元機関名	178		37.5	*
紹介元科名	227		20.4	*
紹介元医師名	224		21.4	*
診断・病歴画面				
入院時診断	5		98.2	
発症型	25	19	91.2	
症状1	18	18	93.7	
症状2	18	18	93.7	
症状3	18	18	93.7	
症状4	18	18	93.7	*
入院時血圧	49	18	82.8	
入院後進行	49	20	82.8	
脳卒中既往歴	23		91.9	
既往歴詳細	187		34.4	*
脳卒中家族歴	40		86.0	
家族歴詳細	238		16.5	*
飲酒歴	32		88.8	
喫煙歴	32		88.8	
心房細動	26	26	90.9	
高血圧	21	21	92.6	
糖尿病	21	21	92.6	
高脂血症	21	21	92.6	
心血管疾患	21	21	92.6	
腎疾患	22	22	92.3	*まとめる
悪性腫瘍	87		69.5	*まとめる
その他	209		26.7	*まとめる
病歴	37	21	87.0	
退院時確定診断	27		90.5	
退院時血圧	100		64.9	
退院日	51	19	82.1	
退院時HDRS	203		28.8	*
退院時MMSE	199		30.2	*

Rankin-R	66	20	76.8	
寝たきり度	224		21.4	*
痴呆性老人ADL	268		6.0	*
退院時紹介先名	193		32.3	
退院時紹介先科名	232		18.6	*
紹介先医師名	241		15.4	*
死因	261		8.4	
剖検	257		9.8	
死亡日	266		6.7	*
画像診断画面				
初回画像検査日	23	21	91.9	
初回検査法	23	21	91.9	
画像診断初回	27	19	90.5	
画像診断2	74		74.0	*
発症-検査時間	38	19	86.7	*
初回画像診断	27	19	90.5	
画像診断2	74		74.0	*
画像診断年月日2	71		75.1	*
画像検査法2	71		75.1	*
大まかな病巣部位	117		58.9	
MRI方法	150		47.4	*
陳旧性病変	83		70.9	
無症候性病変	90		68.4	*
CTMRI所見詳細	59	26	79.3	
出血性梗塞	71	25	75.1	
白質高信号	156		45.3	まとめる
PVH	103		63.9	まとめる
脳血管検査法	66		76.8	
脳血管所見病巣側	82	21	71.2	要検討
脳血管所見対側	121		57.5	要検討
脳血管所見詳細	150		47.4	
SPECT安静時所見	210		26.3	*
SPECT負荷時所見	280		1.8	*
治療画面				
急性期治療1	29	25	89.8	
急性期治療2	178		37.5	
急性期治療3	268		6.0	*
急性期治療4	284		0.4	*
治療開始時間1	48	28	83.2	
治療開始時間2	192		32.6	*
治療開始時間3	269		5.6	*
治療開始時間4	284		0.4	*
7日以内治療	138		51.6	要検討
UK量			100.0	*
t-PA量			100.0	*
治療詳細	126		55.8	
手術1	274		3.9	
手術2	285		0.0	*
手術3	285		0.0	*
手術年月日1	274		3.9	
リハビリ開始	163		42.8	
リハビリコメント	270		5.3	*

入退院処方	96		66.3	
処方記載	129		54.7	*
神経症状評価画面				
神経症状評価1	92	19	67.7	
神経症状評価2	129		54.7	
評価日時1	110		61.4	*
評価日時2	181		36.5	*

神経症状詳細	193		32.3	*
JSS-1	47		83.5	
JSS-2	89		68.8	
NIHSS-1	110		61.4	
NIHSS-2	129		54.7	

(島根医大は初期バージョンから入力のため当初JSSのみ入力)

項目数 (SAH除く) 110 削除可能項目 43 39%削減
 追加項目数 4 (計114) 差し引き 39 34%削減

くも膜下出血画面	SAH=28		入力率	
最終発作年月日	259		92.9	
最終発作時間	260		89.3	
JCS	257		100.0	*JSS/NIHSS
GCS	261		85.7	*
WFNS	261		85.7	
H-K	260		89.3	
神経症状	262		82.1	
その他所見	268		60.7	
CT-Fisher分類	258		96.4	
脳内・硬膜下血腫	274		39.3	
水頭症	261		85.7	
出血源検査法	261		85.7	
出血原因	258		96.4	
動脈瘤分類	261		85.7	
動脈瘤個数	261		85.7	
破裂動脈瘤部位	260		89.3	
破裂動脈瘤左右	260		89.3	
破裂動脈瘤大きさ	262		82.1	
破裂動脈瘤形状	262		82.1	
未破裂動脈瘤部位1	275		35.7	あり、なし
未破裂動脈瘤左右1	275		35.7	あり-詳細へ
未破裂動脈瘤大きさ1	276		32.1	
未破裂動脈瘤部位2	283		7.1	
未破裂動脈瘤左右2	283		7.1	
未破裂動脈瘤大きさ2	283		7.1	
未破裂動脈瘤部位3	285		0.0	*
未破裂動脈瘤左右3	285		0.0	*
未破裂動脈瘤大きさ3	285		0.0	*
SAH治療	257		100.0	
入院後発作回数	262		82.1	
術前JCS	262		82.1	
術前GCS	264		75.0	
術前WFNS	264		75.0	

術前H-K	263		78.6	
術前神経症状	265		71.4	
術前CT-Fisher分類	262		82.1	
術前脳内・硬膜下血腫	277		28.6	
術前水頭症	263		78.6	
手術年月日1	260		89.3	
手術年月日2	284		3.6	
day1	261		85.7	
day2	284		3.6	
手術内容1	264		75.0	
手術内容2	284		3.6	
脳血管攣縮症候	269		57.1	
発症時期day	273		42.9	
攣縮診断法	270		53.6	
血管写所見	274		39.3	
攣縮程度	273		42.9	
攣縮治療法	271		50.0	
NPH症状	285		0.0	
シャント手術	282		10.7	
全身合併症	284		3.6	
退院時GOS	270		53.6	
退院時JCS	277		28.6	*
退院時神経所見	283		7.1	*JSS/NIHSS

項目数=56

削減可能数=7

13%削減

画像診断入力は画像シエーマの各部位に入力boxを設け、visual入力に変更する

脳卒中学会 JSS-米国 NIHSS combined Scale

JSS と NIHSS を別々にとる手間を省くため、重複部分をまとめて JSS-NIHSS hybrid 版を作成しました。本スケールによれば専門医は5分程度で評価を終了することが可能です。

脳卒中学会 JSS と米国 NIHSS の相関

脳卒中学会 Stroke Scale 委員会で作成された、世界で唯一数値的重み付けのある Japan Stroke Scale と米国 NIH で作成された NIH Stroke Scale の相関を入院時、退院時および変化についてみたものです。いずれも良好な相関が得られ、脳卒中の神経症候評価の標準スケールとしての有用性が実証されました。

集計データの一部紹介

今年度の研究はデータベース構築が目的であり、脳卒中データ集計解析はデータベースの実用化に向けての实地検証のために行ったものですが、このような集計が電子データを用いて短時間に容易に行えることを示す資料として一部を紹介します。

(詳細については大櫛の分担研究報告を参照)

JSS-NIHSS combined scale 入力用検査用紙

施行年月日

患者氏名

- 1 質問に対する反応（現在の月名と年齢） 0. 両方正解 1. 片方正解 2. 両方不正解
- 2 命令への反応（開閉眼と離握手） 0. 両方可能 1. 片方可能 2. 両方不可能
- 3 Glasgow coma scale
- | 開眼 | 言語 | 運動 |
|---------------|-----------|--------------|
| 4 自発的に開眼する | 5 見当識良好 | 6 命令に従う |
| 3 呼びかけにより開眼する | 4 混乱した会話 | 5 疼痛に適切に反応 |
| 2 痛み刺激により開眼する | 3 不適切な会話 | 4 屈曲逃避 |
| 1 全く開眼しない | 2 理解不能の応答 | 3 異常屈曲反応 |
| | 1 反応なし | 2 伸展反応（除脳姿勢） |
| | | 1 反応なし |
- 4 失語 0. 正常 1. 軽度～中等度の失語 2. 高度の失語 3. 無言、全失語
- 構音障害 0. 正常 1. 軽度～中等度 2. 高度
- 言語総合 1. 口頭命令で拳を作らせる 2. 時計を見せて「時計」と云える
3. 「サクラ」を繰り返して云える 4. 住所、家族の名前が上手に云える
- 5 瞳孔異常 0. なし 1. 片側の瞳孔異常有り 2. 両側の瞳孔異常有り
- 6 注視 0. 正常 1. 部分的注視麻痺 2. 完全注視麻痺
- 7 視野 0. 異常なし 1. 部分的半盲 2. 完全半盲 3. 両側半盲
- 8 無視 0. 線分二等分試験正常 1. 線分二等分試験で半側無視（軽度～中等度）
2. 麻痺に気がつかない、または一側空間を無視した行動をする（高度）
- 9 顔面麻痺 0. 正常 1. 軽度の麻痺 2. 部分的麻痺 3. 完全麻痺
- 10 上肢の運動（*仰臥位の時は45度）
- 右 0] 10秒間90度*に保持可能（動揺なし） 1] 10秒以内に動揺
- 2] 10秒以内に下がる 3] 重力に抗して動かない 4] 動かない
- 左 0] 10秒間90度*に保持可能（動揺なし） 1] 10秒以内に動揺
- 2] 10秒以内に下がる 3] 重力に抗して動かない 4] 動かない
- 11 下肢の運動（仰臥位）
- 右 0] 5秒間30度に保持可能（動揺なし） 1] 5秒以内に動揺
- 2] 5秒以内に下がる 3] 重力に抗して動かない 4] 動かない
- 左 0] 5秒間30度に保持可能（動揺なし） 1] 5秒以内に動揺
- 2] 5秒以内に下がる 3] 重力に抗して動かない 4] 動かない
- 12 運動系（臥位で検査）
- 手 1. 正常 2. 親指と小指で輪を作る 3. そばに置いたコップが持てる
4. 指は動くが物をつかめない 5. 全く動かない
- 腕 1. 正常 2. 肘を伸ばして腕を挙上出来る 3. 肘を屈曲挙上出来る
4. 腕は動くが挙上不可 5. 全く動かない
- 下肢 1. 正常 2. 膝を伸展して下肢を挙上出来る 3. 自力膝立て可能
4. 動くが膝立ては出来ない 5. 全く動かない
- 13 足底反射 1. 正常 2. いずれとも云えない 3. 病的反射（Babinski or Chaddock）陽性
- 14 失調 0. なし 1. 一肢にあり 2. 二肢にあり
- 15 感覚 0. 正常 1. 軽度～中等度障害 2. 高度障害～感覚脱失

（該当する評価に○印を付け、後で脳卒中データベースにそのまま入力すると、JSSとNIHSSのスコアが計算されて同時に表示されます。この用紙はカルテに挟んでおいて下さい。）

Japan Stroke Scale (JSS)

- 1) 意識
 - A. Glasgow Coma Scale (GCS) A: 15 B: 14~7 C: 7~3 (必須)
 - B. Japan Coma Scale (JCS) (I-0を9、III-300を0に置き換え)
A: 9 B: 8~3 C: 2~0
- 2) 言語
 - 1. 口頭命令で拳を作らせる
 - 2. 時計を見せて「時計」と云える
 - 3. 「サクラ」を繰り返し云える
 - 4. 住所、家族の名前が上手に云える

A: すべて可 B: 3/4 or 2/4 C: 1/4 or 0/4 (None)
- 3) 無視
 - A: 線分二等分試験正常 B: 線分二等分試験で半側無視
 - C: 麻痺に気がつかない。または一側空間を無視した行動をする。
- 4) 視野欠損または半盲
 - A: 同名性の視野欠損または半盲なし B: 同名性視野欠損または半盲あり
- 5) 眼球運動障害
 - A: なし B: 側方視が不十分 C: 完全な共同偏視 or 正中固定
- 6) 瞳孔異常
 - A: なし B: 片側の瞳孔異常有り C: 両側の瞳孔異常有り
- 7) 顔面麻痺
 - A: なし B: 片側の鼻唇溝が浅い C: 安静時に口角が下垂
- 8) 足底反射
 - A: 正常 B: いずれとも云えない C: 病的反射 (Babinski or Chaddock) 陽性
- 9) 感覚系
 - A: 正常 B: 何らかの軽い感覚障害がある C: はっきりした感覚障害がある
- 10) 運動系 (臥位で検査)
 - 手
 - 1. 正常 2. 親指と小指で輪を作る 3. そばに置いたコップが持てる
 - 4. 指は動くが物はつかめない 5. 全く動かない (A: 1, B: 2 or 3, C: 4 or 5)
 - 腕
 - 1. 正常 2. 肘を伸ばして腕を挙上出来る 3. 肘を屈曲挙上出来る
 - 4. 腕は動くが挙上不可 5. 全く動かない (A: 1, B: 2 or 3, C: 4 or 5)
 - 下肢
 - 1. 正常 2. 膝を伸展して下肢を挙上出来る 3. 自力膝立て可能
 - 4. 動くが膝立ては出来ない 5. 全く動かない (A: 1, B: 2 or 3, C: 4 or 5)

合計点 - constant (14.71) = JSS スコア (合計14項目)

NIHSS

- 1 A 意識レベル 0. 清明 2. 清明でない 3. 反応なし
 - 1 B 質問に対する反応 (現在の月名と年令)
 - 0. 両方正解 1. 片方正解 2. 両方不正解
 - 1 C 命令への反応 (開閉眼と離握手)
 - 0. 両方可能 1. 片方可能 2. 両方不可能
 2. 注視
 - 0. 正常 1. 部分的注視麻痺 2. 完全注視麻痺
 3. 視野
 - 0. 異常なし 1. 部分的半盲 2. 完全半盲 3. 両側半盲
 4. 顔面麻痺
 - 0. 正常 1. 軽度の麻痺 2. 部分的麻痺 3. 完全麻痺
 5. 上肢の運動 (*仰臥位の時45度)
 - 右
 - 0. 10秒間90度*に保持可能 (動揺なし) 1. 10秒以内に動揺
 - 2. 10秒以内に下がる 3. 重力に抗して動かない 4. 動かない
 - 左
 - 0. 10秒間90度*に保持可能 (動揺なし) 1. 10秒以内に動揺
 - 2. 10秒以内に下がる 3. 重力に抗して動かない 4. 動かない
 6. 下肢の運動 (仰臥位)
 - 右
 - 0. 5秒間30度に保持可能 (動揺なし) 1. 5秒以内に動揺
 - 2. 5秒以内に下がる 3. 重力に抗して動かない 4. 動かない
 - 左
 - 0. 5秒間30度に保持可能 (動揺なし) 1. 5秒以内に動揺
 - 2. 5秒以内に下がる 3. 重力に抗して動かない 4. 動かない
 7. 失調
 - 0. なし 1. 一肢にあり 2. 二肢にあり
 8. 感覚
 - 0. 正常 1. 軽度~中等度障害 2. 高度障害~感覚脱失
 9. 言語
 - 0. 正常 1. 軽度~中等度の失語 2. 高度の失語 3. 無言、全失語
 10. 構音障害
 - 0. 正常 1. 軽度~中等度 2. 高度
 11. 消去/無視
 - 0. なし 1. 軽度~中等度 2. 高度
- 総合点 /42

脳卒中神経症候評価スケール 入院時JSSと入院時NIHSSの相関

回帰分析概要

JSS1 対 NIHSS1

例数	221
欠測値数	152
相関係数 (R)	.906
R 2 乗	.821
自由度調整 R 2 乗	.821
RMS 残差	3.896

分散分析表

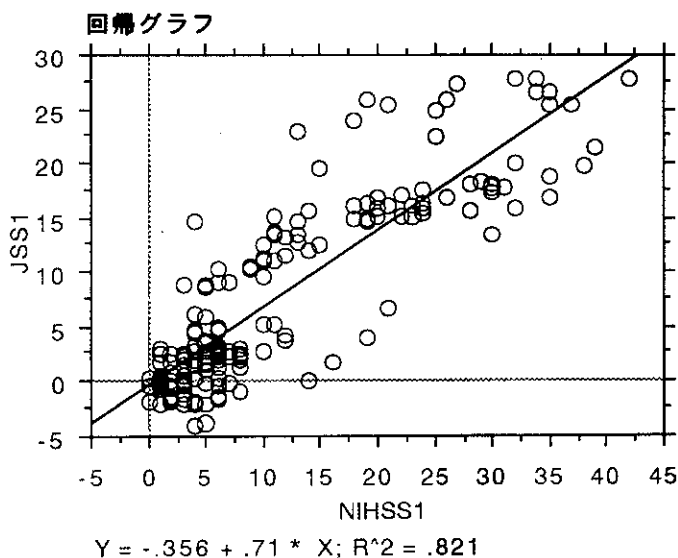
JSS1 対 NIHSS1

	自由度	平方和	平均平方	F値	p値
回帰分析	1	15293.075	15293.075	1007.369	<.0001
残差	219	3324.685	15.181		
合計	220	18617.759			

回帰係数

JSS1 対 NIHSS1

	回帰係数	標準誤差	標準回帰係数	t値	p値
切片	-.356	.360	-.356	-.988	.3242
NIHSS1	.710	.022	.906	31.739	<.0001



脳卒中神経症候評価スケール 退院時JSSと退院時NIHSSの相関

回帰分析概要

JSS2 対 NIHSS2

例数	185
欠測値数	188
相関係数 (R)	.969
R ² 乗	.939
自由度調整 R ² 乗	.939
FMS 残差	2.664

分散分析表

JSS2 対 NIHSS2

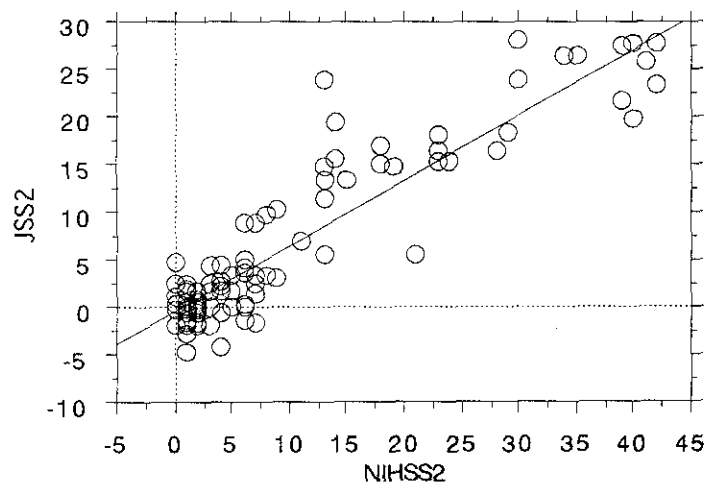
	自由度	平方和	平均平方	F値	p値
回帰分析	1	20033.715	20033.715	2822.724	<.0001
残差	183	1298.806	7.097		
合計	184	21332.521			

回帰係数

JSS2 対 NIHSS2

	回帰係数	標準誤差	標準回帰係数	t値	p値
切片	-.581	.239	-.581	-2.430	.0161
NIHSS2	.689	.013	.969	53.129	<.0001

回帰グラフ



$$Y = -.581 + .689 * X; R^2 = .939$$

脳卒中神経症候評価スケール JSS変化とNIHSS変化の相関

回帰分析概要

JSS変化 対 NIHSS変化

例数	185
欠測値数	188
相関係数 (R)	.892
R ² 乗	.796
自由度調整 R ² 乗	.795
FMS 残差	2.988

分散分析表

JSS変化 対 NIHSS変化

	自由度	平方和	平均平方	F値	p値
回帰分析	1	6373.270	6373.270	713.643	<.0001
残差	183	1634.302	8.931		
合計	184	8007.572			

回帰係数

JSS変化 対 NIHSS変化

	回帰係数	標準誤差	標準回帰係数	t値	p値
切片	-.212	.220	-.212	-.965	.3359
NIHSS変化	.616	.023	.892	26.714	<.0001

回帰グラフ

